

	福島県		県中地域				須賀川・岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第23週	第22週	第23週		第22週		第23週		第22週		第23週		第22週		第23週		第22週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	46	83	1	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0
咽頭結膜熱	25	36	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	156	156	14	0	17	0	9	0	10	0	0	0	0	0	5	0	7	0
感染性胃腸炎	213	252	53	19	57	24	53	7	51	14	0	3	0	2	0	9	6	8
水痘	32	50	5	9	29	42	4	5	28	30	0	3	0	11	1	1	1	1
手足口病	4	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	4	14	0	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発疹	44	35	7	0	6	0	3	0	5	0	0	0	0	0	4	0	1	0
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	34	28	19	19	18	16	0	0	0	0	0	0	0	0	19	19	18	16
RSウイルス感染症	32	34	4	1	3	4	4	0	3	0	0	1	0	4	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	16	12	0	1	0	0	0	1	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0

【感染症発生動向調査】 ※定ポイント医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

**県中地域の状況**

＜流行性耳下腺炎の流行が続いています＞  
 田村地区で流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）の流行が続いています。流行性耳下腺炎の主な症状は、耳の下や顎の下の腫れ、咳、鼻水、発熱等です。予防法として最も有効なのは、予防接種を受けて免疫を獲得しておくことです。流行性耳下腺炎の予防接種は任意ではありますが、発症を防ぐため、重症化を予防するために重要となりますので、積極的な接種が推奨されます。

＜感染性胃腸炎の小流行が続いています＞  
 須賀川・岩瀬地区で感染性胃腸炎の小流行が続いています。例年、春～初夏にかけて、ロタウイルスによる感染性胃腸炎の患者が多くみられます。ロタウイルスは感染力が強く、ごくわずかなウイルスが体内に入っただけで感染してしまいます。感染を広げないためには、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる適切な処理等が重要です。

## 咽頭結膜熱（プール熱）に注意しましょう

### 咽頭結膜熱（プール熱）とは

- ・アデノウイルスの感染により、発熱(38~39)、咽頭炎、結膜炎といった症状をきたす小児に多い疾患です。
- ・プールでの接触やタオルの共有、患者の咳やくしゃみなどが感染経路となります。
- ・通常6月頃から徐々に流行しはじめ、7~8月にピークとなります。

※今年は咽頭結膜熱が全国的に流行しており、患者数は2007年以降最多となっています

### 予防するためには

- ①流水と石けんによる手洗いの徹底
- ②タオル等を共有しない
- ③プールの後はシャワーを浴びる



30秒以上時間をかけて、しっかり洗う



詳しくは、厚生労働省ホームページへ  
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou17/01.html>